



4月28日 釜石さくら祭り【唐丹町】

受け継がれる伝統

釜石さくら祭りが6年ぶりに開催されました。神輿渡御には、300年以上歴史を持つ大名行列やさまざまな郷土芸能が加わり、神社を出発して小白浜を通り、桜並木を抜けて御旅所（本郷海岸）までの4キロの道のりを練り歩きました。



行列には町内7地区から約600人が参加し、神楽や虎舞、手踊りなどの郷土芸能で祭りは活気を帯びました。



4月12日 お花見【ピッコロ子ども倶楽部桜木園】

春を見つけに

市内の桜は13日までに多くの場所で満開になり、各地で花見を楽しむ人たちの姿が見られました。ピッコロ子ども倶楽部桜木園では、お花見をしながらお弁当を食べて、お散歩をしました。桜の木を見上げ、ひらひらと散る桜をつかもうと手を伸ばしたり花びらを拾ったりして楽しんでいました。



ありがとうございます

4月12日【市長室】

加藤 玲名 様



加藤さんにはこれまでラグビー子ども未来基金へ10回・計987,037円の寄付をいただいています。
※都合により、代理人による目録贈呈

4月26日【市長室】

山内 敏宏 様



防災関連への活用のために寄付をいただきました。

4月1日～3日 東北復興ラグビー交流会【釜石鶴住居復興スタジアム他】

ラグビー強豪校が釜石に集う

常翔学園(大阪府)や東福岡(福岡県)、札幌山の手(北海道)などの全国のラグビー強豪高校が釜石に集結し、ラグビーを通じた交流や、震災復興と防災避難の体験学習などを行いました。

今年は、昨年度と比べて8校多い、20校約600人が参加。交流戦の他、最終日には各校から選抜メンバーが選ばれるドリームマッチも行われ、ともに汗を流しました。



4月5日 釜石市国際外語大学校開校式・入学式【釜石市国際外語大学校】

新たな学び舎が釜石に誕生

開校式とあわせて、外国語や観光マネジメントについて学ぶことができる『外語観光学科』の入学式が挙行され、入学生は「地元である釜石で学べることに大きな意義を感じている。地域に恩返しができるよう邁進する。」と誓いました。

令和6年10月には、留学生向けの『日本語学科』が設置され、20人ほどの留学生の入学が見込まれています。



4月14日 釜石市長&小山怜央杯争奪世代間交流将棋大会【中妻地区生活応援センター】

世代を超えて指す 勝負の一手

市内出身の小山怜央さんが県勢初のプロ棋士となり、市内・県内で将棋熱が高まる中、日本将棋連盟釜石支部が交流大会を行いました。県内から集結した16チーム約48人が年齢を超えて将棋で交流しました。



4月29日 五葉山山開き【五葉山】

待ちわびた一歩 足取り軽く

赤坂峠登山口で神事が行われ、今年度も五葉山が山開きを迎えました。天候にも恵まれ、この日を待ちわびていた約150人の登山愛好家が山頂を目指し、歩みを進めました。五葉山は、5月下旬にツツジの花が見ごろを迎え、12月上旬まで登山が可能です。

